

「こじゃんと1号・2号」 組み立てマニュアル

1号(小型囲いわな)



2号(大型囲いわな)



四国森林管理局
森林技術・支援センター

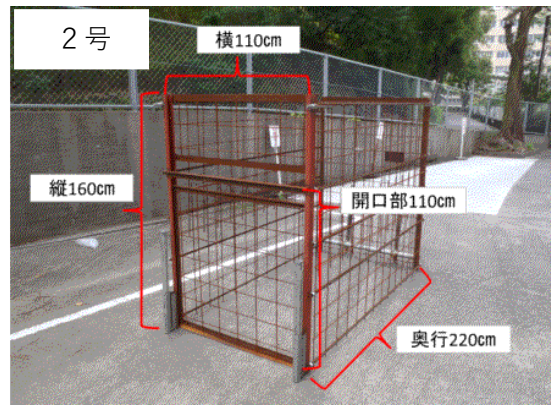
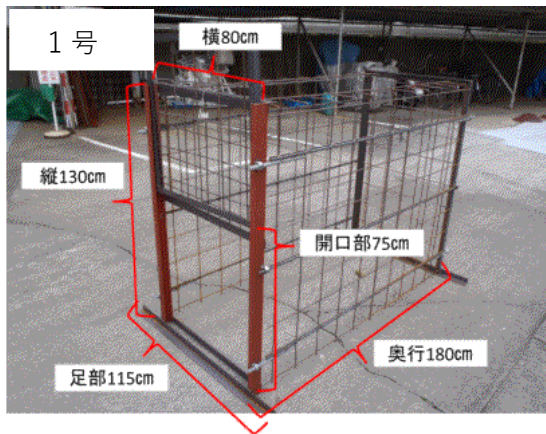


平成25年9月作成
(平成31年7月改訂)
(令和7年2月改訂)

【目 次】

1. 1号と2号サイズ比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
2. 囲いわな本体設営や仕掛け作りに使用する道具
(1号・2号共通)・・・・・・・・ P 2
3. 「こじゃんと1号」について・・・・・・・・・・・・ P 3
 - (1) 部材紹介・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4～5
 - (2) 事前準備・・・・・・・・・・・・ P 6
 - (3) 囲いわな本体組み立て・・・・・・・・ P 7～9
4. 「こじゃんと2号」について・・・・・・・・・・・・ P 10
 - (1) 部材紹介・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11～12
 - (2) 事前準備・・・・・・・・・・・・ P 13
 - (3) 囲いわな本体組み立て・・・・・・・・ P 14～17
5. 仕掛け部分の取付、セッティング(1号・2号共通)
・・・・・・・・ P 18～26
6. 取り扱いの上の留意事項・・・・・・・・ P 27

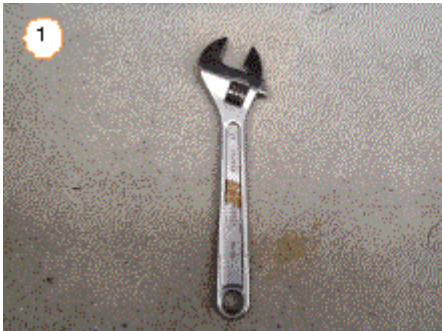
1. 1号・2号のサイズ比較について



2. 囲いわな組み立てに使用する道具（1号・2号共通）

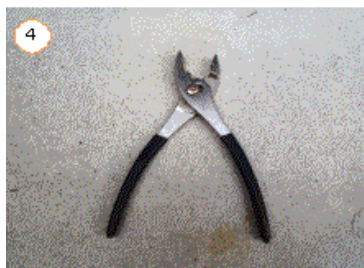
（1）本体設営

- ①モンキーレンチ
- ②ハンマー



（2）仕掛け作成

- ①ニッパー
- ②ワイヤーカッター
- ③金鋸
- ④ペンチ
- ⑤電動サンダー（使用頻度は少ないので、なくても代用できる）



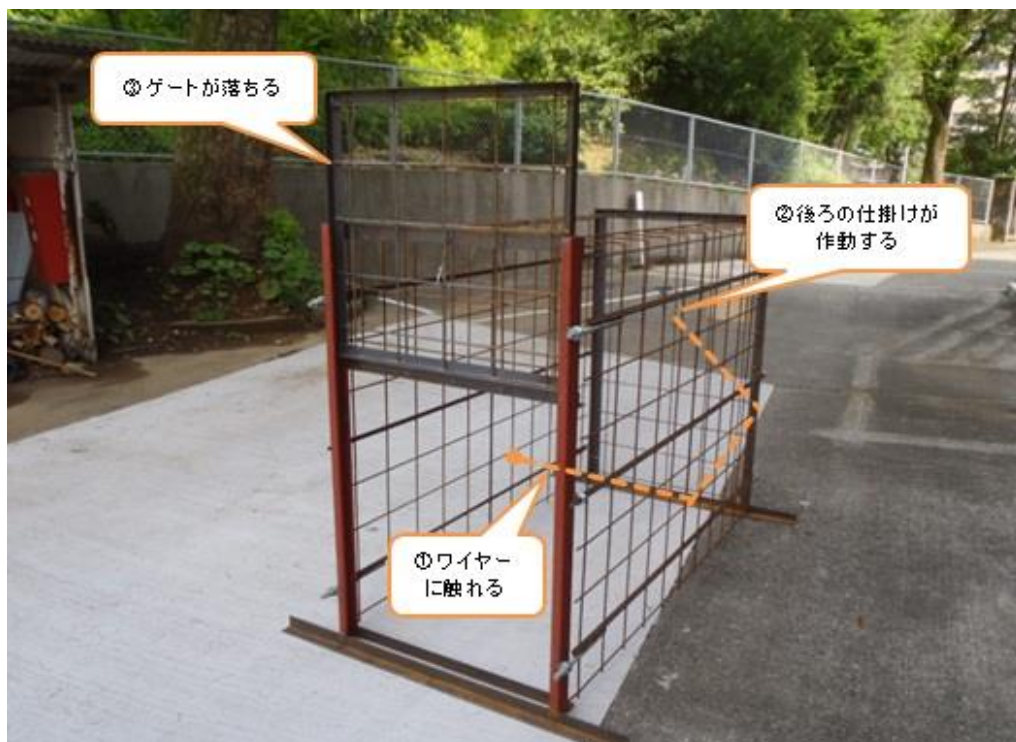
3. 「こじゃんと1号」について

(1) 囲いわなの概要

森林技術・支援センターでは、①軽量、②設置等が簡単な囲いわなを開発しました。

- ① 軽量…全部で58kg。市販品に比べ軽い
- ② 設置・解体が簡単…二人1組で約5分

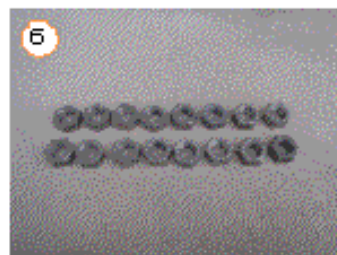
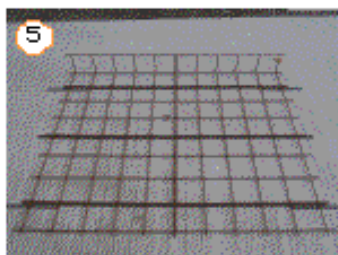
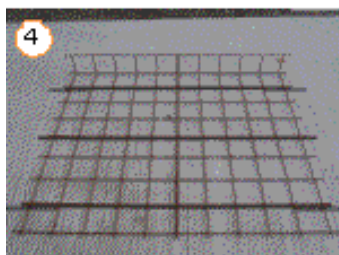
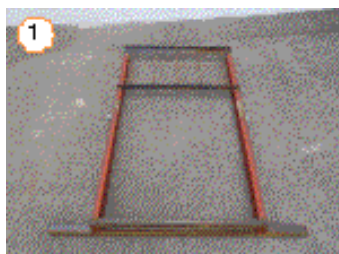
(2) 囲いわなの仕様



(1) 部材紹介

(ア) 囲いわな本体

		縦	×	横 (cm)
①前面枠 (開閉部)	1枚	130	×	75
②ゲート枠	1枚	72	×	72
③後方枠 (後方)	1枚	130	×	75
④⑤側面枠	2枚	125	×	160
⑥ナット	16個			
⑦足場用クランプ	2個			
⑧固定杭	1本			



(イ) 仕掛け部分

※仕掛け部品については、いずれもホームセンター等で購入できます。

(参考)

①ねずみ取り	1個
②2.0mm ワイヤー	2.35m (φ2mm×5m)
③0.3mm ワイヤー	1.40m
④かしめ (2.0mm 用)	2個 (3個入/袋)
⑤ // (0.3mm 用)	2個 (4個入/袋)
⑥真鍮針金 (しっかりしたもの)	2m程度 (φ0.9mm×5m)
⑦真鍮針金 (細いもの)	2m程度 (φ0.3mm×15m)
⑧カラビナ (5cm 程度の物)	1個
⑨水道用T型継ぎ手パイプ (13mm 用)	1個
⑩水道用直線パイプ (13mm)	6cm (1m/本)
⑪J字型鉄棒 (長さ 20cm 程度)	1個 (長さ 210mm)



(2) 仕掛けの事前準備（購入者が自作する場合）

(ア) ワイヤーの製作

- ① 2.0mm ワイヤー（長さ 2.35m）の両方の先端に、5 cmの輪を作りカシメる＝ワイヤーA
- ② 0.3mm ワイヤー（長さ 1.40m）の両方の先端に、2 cmの輪を作りカシメる＝ワイヤーB



- (イ) 水道用T型継ぎ手パイプ（13mm）の下部に水道用直線パイプを6cm差し込む。T型の頂部をサンダー等で溝を切る（溝切りの幅は後方枠の格子からパイプが落ちない程度でよい）。



(3) 囲いわな本体の組み立て

(ア) 前面枠（開閉部）にゲートを入れた後、ゲート枠（開閉部）に溶接しているナットの穴に、側面枠（下用）の鉄筋を差し込む。

※このとき、溶接している鉄筋が外側になるように設置すること。



(イ) 次に、側面枠のボルト側が上になるようナットの穴に差し込み、最上部のボルトを付属ナット1個で仮締めをする（後の全体調整のためナットとナットの幅を1～2cm程度開けておく。）

※このとき、溶接している鉄筋が外側になるように設置すること。



(ウ) 両側の側面枠を設置した後、後方枠を差し込む。このとき、後方枠に溶接している穴に側面枠のすべての鉄筋を差し込み、最上部のボルトをナットで仮締めする。

※2人で作業する事がポイント！



(エ) 全体のバランスを調整のうえ、(イ)で仮締めしていたゲート枠（入口）側も含め、最上部全4カ所を各2個のナットで完全に締める。

※緩み止めのため付属ナットを2個使用すること



(オ) 後方枠に足場クランプを取り付けたあと、固定杭を軽く打ち、固定杭に足場クランプを仮止めし、再度、固定杭を打ち込む。その後足場クランプを本締めする。



これで、ワナ本体の組立ては完了です。
少し慣れれば、二人で5分程度でできます。



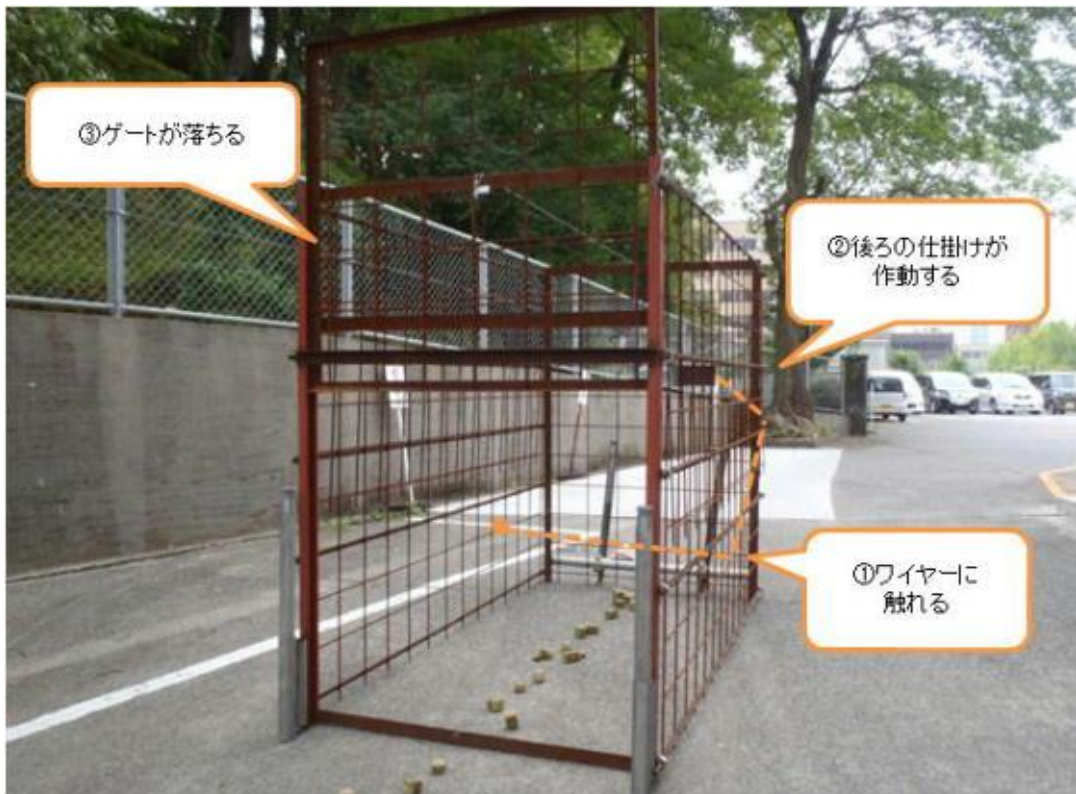
4. 「こじゃんと2号」について

(1) 囲いわなの概要

森林技術・支援センターでは、①軽量、②設置等が簡単な囲いわなを開発しました。

- ① 軽量…全部で102kg。市販品に比べ軽い
- ② 設置・解体が簡単…二人1組で約10分

(2) 囲いわなの仕様



(1) 部材紹介

(ア) 2号本体部分

		縦	×	横 (cm)	
①ゲート枠 (開閉部)	1枚	160	×	105	
②後方枠 (後方)	1枚	160	×	105	
③側面枠 (上用2枚)		85	×	200	(ボルト付き)
④ // (下用2枚)		//		//	(ボルト無し)
⑤固定杭	4本				
⑥足場用クランプ	2個				
⑦ナット	8個				

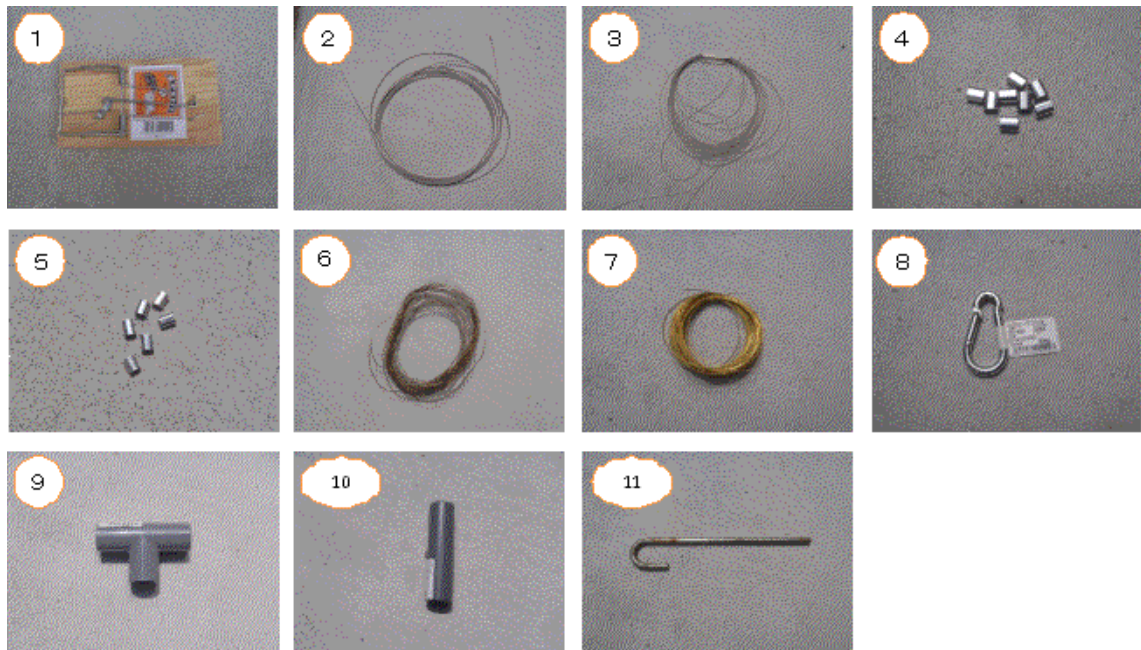


(イ) 仕掛け部分

※仕掛け部品については、いずれもホームセンター等で購入できます。

(参考)

①ねずみ取り	1個
②2.0mm ワイヤー	2.70m (φ2mm×5m)
③0.3mm ワイヤー	2.00m
④かしめ (2.0mm 用)	2個 (1袋 3個入)
⑤ // (0.3mm 用)	2個 (1袋 4個入)
⑥真鍮針金 (しっかりしたもの)	2m程度 (φ0.9mm×5m)
⑦真鍮針金 (細いもの)	2m程度 (φ0.3mm×15m)
⑧カラビナ (5cm 程度の物)	1個
⑨水道用T型継ぎ手パイプ (13mm 用)	1個
⑩水道用直線パイプ (13mm)	6cm (1m/本)
⑪J字型鉄棒 (長さ20cm程度)	1個 (長さ 210mm)



(2) 仕掛けの事前準備 (購入者が自作する場合)

(ア) ワイヤーの製作

- ① 2.0mm ワイヤー (長さ 2.7m) の両方の先端に、5 cmの輪を作りカシメる=ワイヤーA
- ② 0.3mm ワイヤー (長さ 2.0m) の両方の先端に、2 cmの輪を作りカシメる=ワイヤーB



- (イ) 水道用T型継ぎ手パイプ (13mm) の下部に水道用直線パイプを6cm差し込む。T型の頂部をサンダー等で溝を切る (溝切りの幅は後方枠の格子からパイプが落ちない程度でよい)。



(3) 囲いわな本体組み立て

(ア) ゲート枠（開閉部）にゲートを入れ多後、左右の短管に固定杭をハンマーで打ち込んで固定する。

※ゲート枠には 4 本の短管を溶接しているが、外側の短管に固定杭を打ち込む



(イ) ゲート枠（開閉部）に溶接しているナットの穴に、側面枠（下用）の鉄筋をし込む。

※このとき、溶接している鉄筋が外側になるように設置すること。



(ウ) 次に、側面枠（上用）のボルト側が上になるようナットの穴に差し込み、最上部のボルトを付属ナット1個で仮締めをする（後の全体調整のためナットとナットの幅を1～2cm程度開けておく。）

※このとき、溶接している鉄筋が外側になるように設置すること。



(エ) 両側の側面枠を設置した後、後方枠を差し込む。このとき、後方枠に溶接している穴に側面枠(上下)のすべての鉄筋を差し込み、最上部のボルトをナットで仮締めする。

※2人で作業する事がポイント！



(オ) 全体のバランスを調整のうえ、(エ)で刈締めしていたゲート枠(入口)側も含め、最上部全4カ所を各2個のナットで完全に締める。

※緩み止めのため付属ナットを2個使用すること



(カ) 後方枠に足場クランプを取り付けたあと、固定杭を軽く打ち、固定杭に足場クランプを仮止めし、再度、固定杭を打ち込む。その後足場クランプを本締めする。



これで、わな本体の組み立ては完了です。
少し慣れば、二人で10分程度でできます。



5. 仕掛け部分の取付、セッティング（1号・2号共通）

- (1) ねずみ取り器の4隅に穴を開け、後方枠の上から2号の場合4段目、1号の場合3段目、右から2号の場合5段目、1号の場合4段目の枠付近にしっかりした針金で固定する。その際、バネが右から左に跳ねるように取り付ける。（写真は2号）



- (2) 事前準備(2)で作ったT型パイプを後方枠の上から2号の場合4段目、1号の場合3段目で、右から2号の場合3つ目、1号の場合2つ目の位置に取り付ける。（写真は2号）



- (3) ねずみ取りを写真のようにセットしJ字型鉄棒の曲部とねずみ取りのバネ部をしっかりと真鍮針金で結ぶ。
※T型パイプにJ字型鉄棒がかかる長さにする。



- (4) ねずみ取りが作動した時にバネ部が板に当たり大きな音が出ないように、バネ部と後方枠を真鍮針金で結ぶ。



- (5) 開口状態となるようゲートを持ち上げる。その際、ゲートに溶接している凸部をゲート枠の横アングルの最上部に引っかける。さらに、作業中のゲートの不意な落下を防ぐため開口部と側面枠の間に、生き枝等を挟み込んでおく。



- (6) ゲート落下部の上から1号・2号とも4段目、右から1号・2号とも3つ目の位置にカラビナを取り付け、そのカラビナに事前準備で作ったワイヤーAの片方を引っかける。(写真は1号)

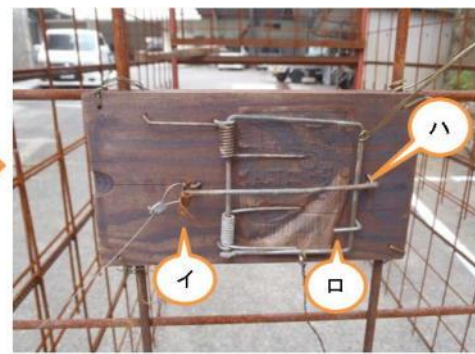
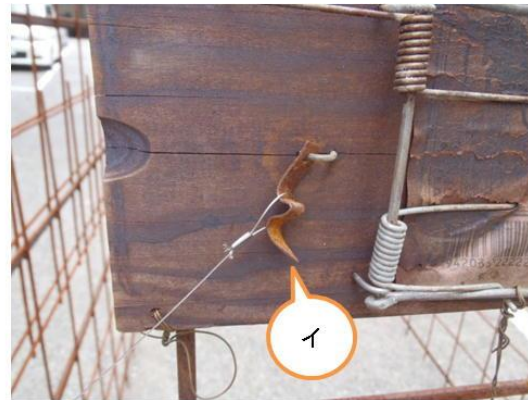


- (7) 細めの真鍮針金と事前準備で作ったワイヤーBの片方を結んだ後、真鍮針金を入口から向かって左側の側面枠の下から2段目、後ろから3つめのコーナーに仮止めする。



(8) 次に、ワイヤーBを反対側(入口から向かって右側)の側面枠の(7)と同じ箇所まで横にまっすぐ伸ばし、ワナの外側を經由させて、ねずみ取り器の金具(イ)にもう一方の輪を引っかける。

あとは、(7)の真鍮針金とねずみ取りとの力加減を測りながらセットする。その際、もう一者が仮止めしてある真鍮針金を持ち、トラップ側の者と確認しながら作業を行うとスムーズにいきます。



お互いの力加減で調整する

(9) ワイヤーAを、ゲート枠（開閉部）本体のアンクル上部を通して、後方枠側に引っ張ってくる。



(10) 後方枠側では、ワイヤーAを写真のように通して先端の輪をパイプに引っかける。

※外側→内側→T型パイプにかける



- (11) 一人がゲート横のアンクルに引っかけていたゲート凸部と生き枝をゆっくりと外しながら、併せてワイヤーAのテンションを利かせながらゲートを下ろす。



- (12) 後方枠側では、J字型鉄棒を棒のようにしてワイヤーAの先端通したT型パイプを抑える。

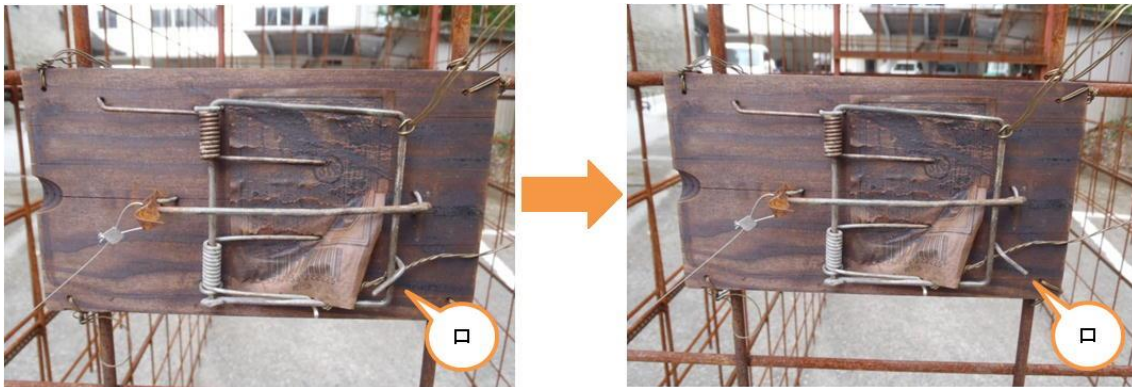


- (13) これでテンションが利いたまま開口している状態になる。



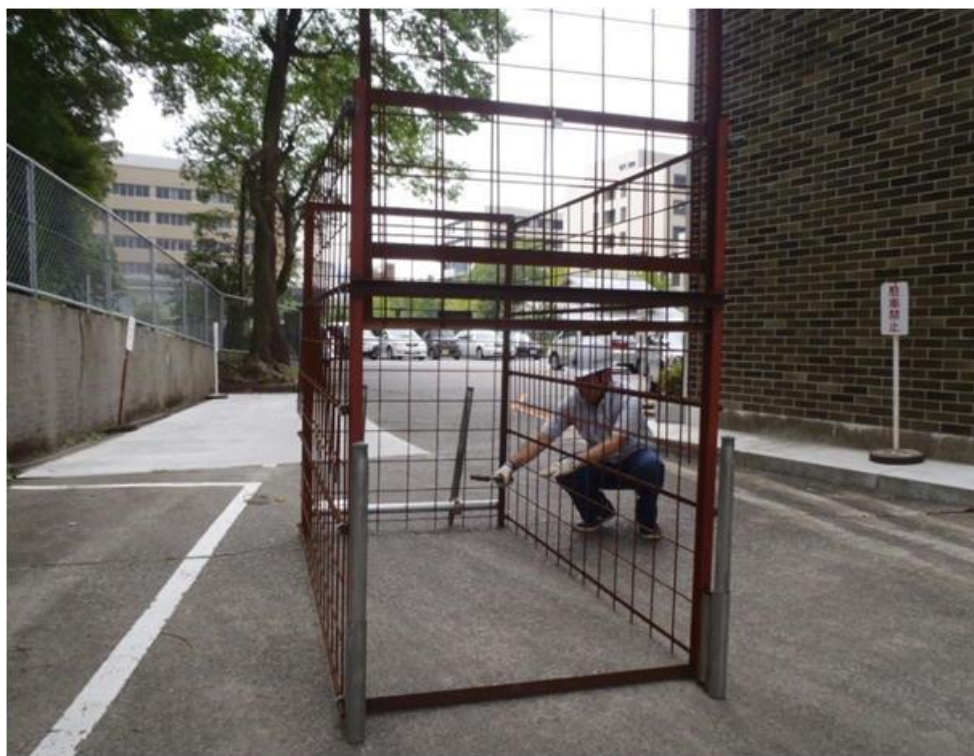
(14) 最後に、ねずみ取り器の止め金具（口）を外す。

※これを忘れるとシカが入ってもわなが作動しません！



(15) わな作動確認の為、わな内のワイヤーBにふれてみて、ゲートが作動すればOKです！

再度、セッティングします。



(16) 最後にながが誤作動しないように十分注意したうえで、わなの内部に張ったワイヤーBにふれないよう慎重に、誘引餌(ハイキューブ等)をワイヤーBの奥側と、わなの中及び入口付近に撒きます。

最後に止め金具(口)のロックを外します。これを忘れるとシカが入ってもわなが作動しません!



これでわなの設置は完了です。
あとは、奥の誘引餌をシカが食べようと、頭部等がワイヤーBに触れるとゲートが落下して、シカを閉じこめます。

1号捕獲状況



2号捕獲状況



6. 取り扱いの上の留意事項

- (1) このわなはニホンジカ捕獲用です。
- (2) この組み立てマニュアル、You Tube で公開している動画等を参考に正しく設置、使用して下さい。
- (3) いたずらに改造しないで下さい。

参考

- (1) 四国森林管理局森林技術・支援センター「こじゃんと1号・2号」(ニホンジカ捕獲用小型囲いわな)、ニホンジカ捕獲マニュアル
http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/gijutu_c/attach/pdf/sikahigaitaisaku-37.pdf
- (2) 高知発「こじゃんと1号」のDVD動画
<https://www.youtube.com/watch?v=tQ30TfV3P-Y>